

2024年度事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(法人の名称:特定非営利活動法人わっこ谷の山福農林舎)

1 事業実施の方針

- ・ 地域資源(農業・林業・福祉・教育・エネルギーなど)を横方向に結び、誰もが自分の力を発揮できる暮らしやすい地域、かつ持続可能な社会をつくることを目的とする。
- ・ 障がいのある人、生活困窮者の就労支援、および相談支援、生活支援を行う。
- ・ 遊休荒廃地を利用した農業振興を推進する。
- ・ 木質バイオマスボイラ運用に伴う松枯れ材のエネルギー活用を図る。
- ・ 自然体験を通じた交流人口増加のための取り組みを行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の 人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 金額 (単位:円)
社会福祉を目的とした事業の企画・運営事業	引きこもり者、不登校者、発達障がい者等を対象とした相談、居場所支援、余暇支援、当事者活動支援、基幹・総合相談支援	(A) 週5回 (B) 筑北村 (C) 4名	(D) 筑北・麻績村民 (E) 110名	2,411,157円
障害のある人などの就労支援および雇用促進、福祉就労のための事業	認定就労訓練事業	本事業年度は 実施無		
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	就労継続支援A型・B型事業 地域活動支援センター事業 自立生活援助事業	(A) 通年 (B) 筑北村 (C) 12名	(D) 筑北・麻績村 (E) 52名	17,812,586円
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	特定相談支援事業・一般相談支援事業	(A) 通年 (B) 筑北村 (C) 3名	(D) 筑北・麻績村・生坂村・松本市・安曇野市 (E) 57名	2,821,968円
児童福祉法に基づく障害児相談支援事業	障害児相談支援事業	(A) 通年 (B) 筑北村 (C) 3名	(D) 筑北・麻績村 (E) 5名	211,844円

介護保険法に基づく居宅介護支援事業	居宅介護支援事業	今事業年度は実施無		
森林の利活用推進事業	支障木、枯れ木等を利用した薪販売事業	(A)通年 (B)筑北村 (C)14名	(D)筑北村・麻績村、近隣自治体住民 (E)6,500人	7,072,031円
森林の利活用推進事業	松枯れ木伐採及び作業道の整備等	(A)通年 (B)筑北村・麻績村 (C)14名	(D)筑北村・麻績村村民 (E)6,500人	4,065,558円
自然体験・環境教育事業	自然体験・環境教育の実施	(A)通年 (B)国内 (C)13名	(D)国内 (E)350名程度	400,000円
観光・地域振興に関する事業	地域の困りごと(草刈・公園管理・圃場の整備・空き家管理等)の代行サービス	(A)通年 (B)筑北村・麻績村内 (C)15名	(D)筑北・麻績村村民・近隣自治体住民 (E)141名	6,638,287円
	遊休荒廃地における水稲・桜花木・りんご・きのこの生産、加工 建築用材の生産	(A)通年 (B)筑北村・麻績村 (C)15名	(D)地権者 (E)16名	3,157,547円
農林業の振興に関する事業		本事業年度は実施無		
本条第1号から第10号に係る研究事業	農林業・社会福祉活動に関わる将来のための研究事業	本事業年度は実施無		
本条第1号から第10号に係る人材育成のための教育研修事業	技術研修等	(A)通年 (B)筑北村 (C)4名	(D)県内および全国 (E)120名	112,307円
本条第1号から第10号に係る普及啓発、政策提言、コンサルタント事業	講師派遣 コンサルタント派遣	(A)通年 (B)筑北村 (C)4名	(D)県内および全国 (E)150名	100,000円
その他第3条の目的を達成するために必要な事業	農林業・福祉・教育・観光などの連携に関わる事業	本事業年度は実施無		

2024年度 特非) わっこ谷の山福農林舎 事業報告書

1. 期間

2024年4月1日～2025年3月31日

2. 重点項目

- ① 就労支援事業
 - 安全管理・効率化
 - きのこ・水稻苗生産
 - 認証制度取得等への取組
- ② 福祉事業
 - 地活センター拠点整備と基幹センターの機能強化
- ③ 法人運営
 - 役員改選
 - 設備更新
 - 新事業開始への計画づくり

3. 2024年度事業概要と総括

今期は法人開設6期目となり、新たな一步を踏み出すための機材更新や新事業準備のための設備投資を大きく行った一年であった。事業実施は今期以降となるため、資産は増加したが、キャッシュは減少している決算となった。

福祉事業は、就労支援事業では地元企業就職者1名、就労継続支援A型事業に新たに1名を雇用、B型事業と合わせて順調に運営を続けることができた。基幹相談支援センター事業では相談延件数が大きく伸びており、地域内での認知と役割が増していることがうかがえる。地域活動支援センター事業は卒業するメンバーが多数いたことから下半期は利用人数が減少し、活動内容の見直しを行った。

代行サービス「おてこ衆」は圃場管理件数が前年比で156%と増加した。背景には人口減少・高齢化に伴い、耕作を継続できない世帯が増加していることがうかがえる。

農業・農産物加工では、りんご生産において「信州の環境にやさしい農作物認証」を取得、農薬を34%カットし、環境へ配慮した農作物の生産を行った。販売件数は前年比213%となり顧客を大幅に増やすことができた。又、きのこ類は原木、楢木、きのこ販売と複数の段階による販売体制構築の一步を踏み出すことができた。また和精油精製にかかる機器類を増設し、作業場を整備したことにより、生産体制の基盤をつくることができた。

林業・林産物販売部門では伐採件数は昨年度とほぼ同数ながら元請け工事の件数が増加した。ボイラ運用においては75㌧の間伐材を燃料として供給することができている。その他、用材販売では外壁用の素材として赤松の板材の発注やDIY材の発注があり単発ながらも売り上げを伸ばすことができた。

観光連携事業にて中学生を対象とした農村体験プログラムを開始し、東京都中央区立の中学校2校より延260名の中学生の受け入れを行った。従来から行っている地元中学校との交流、周辺大学からのフィールドワーク受け入れも継続、本会の取組みを題材とした卒業論文制作者も2名受け入れを行った。又、延総務省「子供の農山漁村体験交流計画策定支援事業」を活用し、農村体験リーフレットの作成、自然体験活動、山村留学、森林セラピー等、豊かな自然環境を活かしたプログラム提供に係る視察研修も実施することができた。

法人運営では5月に役員改選を行い、副代表に山崎智幸氏を迎えて運営を行った。10月からはフレックスタイム制を導入し、希望するスタッフにフレックスタイム制を適用し働きやすい環境の体制整備に取り組んだ。ただ、雇用スタッフや関連事業者が27者と増加しており、法人の意思統一に課題が見られるようになったこと、又、福祉事業等でのマニュアル作成の義務化を受け、規程類の整備や全体集合研修等の回数を増やし、法人理念に沿った運営を継続していく体制整備に取り組んでいる。

4. 各事業（重点目標）の詳細

- ① 就労支援事業
 - 安全管理と作業効率化
 - ・ 安全管理を重点項目に掲げたが、10/1に土場で小火が発生した。以降①朝礼での確認②毎日のKYT③道具管理や引継ぎ等のチェックシートの活用④年間研修計画に基づく研修実施を行っている。
 - ・ 作業効率化に関しては薪を保管するバッグを購入したことで薪積み、車両への積み込みが効率的に運用できる体制となった。
 - きのこ・水稻苗生産の開始
 - ・ 原木、楢木、きのこ販売の三段階による販売体制への土台を構築することができた。コマうち作業や収穫は作業強度が低いため高齢化したメンバーへの作業提供へ今後つなげていきたい。

- ・ 水稲苗は生育が不十分だったため収量が少なくなりました。次年度は山福圃場で自家製倍の苗の使用と余裕があれば地域住民に対しての販売を試みる予定。

■ 認証制度取得

- ・ 「3 2024 年度事業概要と総括」のとおり

② 福祉事業

- ・ 「3 2024 年度事業概要と総括」のとおり

③ 法人運営

- ・ 「3 2024 年度事業概要と総括」のとおり
- ・ 新事業開始への計画づくりでは「米栽培」と「修那羅森林公園キャンプ場計画」の概要について共有、検討を重ねている。

5. 各事業の状況

□ 農業・林業・おてこ衆・教育連携事業

↓ 農業

- ・ りんご生産
収穫量は 1.7 トンと微減したが顧客数は増加している。ジャム、ジュース等の加工品はセレクトショップ 3 店舗と山福 EC サイト、ポケットマルシェ、直販、イベント出店、農林生協等への販売を行い、ほぼ全量出荷することができた。
- ・ 花木生産
正会員市川満久氏の窓口より約 500 本の出荷を行うと共に、筑北・麻績村の中学生の卒業記念品として贈答することができた。

↓ 林業

- ・ 伐採
元請け件数は前年より増加し、会員事業者と連携した伐採、補助、集材を行うことができた。
- ・ 木の駅
針葉樹 250 m³、広葉樹 135 m³の出荷があり原木の確保を安定的に行うことができた。
- ・ 薪販売
前年度に比べて収入が 35% 減少、延件数も減少した。年間契約者への割引や購入してくれたお客様への情報提供体制、新規顧客の開拓が課題となっている。
- ・ 薪ボイラ運用
安全講習とメンテナンスにより通年の安定運用を行うことができ、年間 75 トンの間伐材消費を行うことができた。

↓ おてこ衆

- ・ 酷暑時期を中心にサマータイムを実施、繁忙期はシルバー人材との連携業務（計 7 名）を実施した。
- ・ 公共施設整備は全 15 か所（小仁熊マレット、青柳城址公園、坂北わんぱく公園、坂井支所、坂井保育園、聖南中学校剪定、坂井ふれあい公園、しりつみ公園、差切公園、道の駅さかきたトイレ清掃、まんだらの庄トイレ清掃、JR 駅 4 駅の草刈り）を継続的にやっている。

↓ 教育連携事業

- ・ 講演会、講義回数、視察者数は前年より微減した。
- ・ 農村体験用のリーフレットを補助事業により作成することができた。

□ 福祉事業

↓ 就労継続支援 A 型/B 型事業

- ・ 農林業・代行サービス・ボイラ運用等
- ・ 延利用者数は微減。企業就職者 1 名。B 型から A 型へ移行した利用者が 1 名。
- ・ 年度末にかけて新規利用者が 2 名加わった。

2024 年度 延利用者	2023 年度 延利用者	2022 年度 延利用者	2021 年度 延利用者	2020 年度 延利用者
1,398 名	1,580 名	1,579 名	1,432 名	1,249 名

↓ 地域活動支援センター事業

- ・ 家以外の居場所が必要な利用者、働く準備が整っていない利用者に対して居場所を提供し当事者支援・軽作業・レクリエーション、個別プログラムを実施
- ・ 延利用人数は前年とほぼ同数。卒業して次のステップに向かうメンバーが複数名。

2024 年度 延利用者	2023 年度 延利用者	2022 年度 延利用者	2021 年度 延利用者	2020 年度 延利用者
1,189 名	1,167 名	980 名	922 名	541 名

相談支援事業

- ・ 計画相談は前年度に比べて6%延件数が増加。契約者は計画相談41名、障がい児相談5名、地域移行1名、地域定着1名、市町村計画9名の合計57名の相談支援に取り組んだ。
- ・ 基幹相談支援センターは相談延件数が前年度より78%増加しており地域内での必要性が増している。半面、基幹相談支援センターに係る運営費用は大幅な赤字となっており、委託費の増額が望めない中、行政関与をより高めていく必要がある。

【計画相談】※延件数

2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
189件	178件	97件	119件	158件

【一般相談（移行・定着）】※延利用者

事業	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
地域移行	1名	7名	6名	10名	14名
地域定着	12名	30名	48名	36名	52名

【基幹相談支援センター】

障害種別	実人数		対応件数	
	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度
知的	8	5	35	8
精神	5	5	26	5
身体・重心	3	3	21	22
発達	9	13	38	34
不明	2	0	3	0
合計	27	26	123	69

自立生活援助事業

- ・ ひとり暮らし、もしくは家庭での支援体制が十分でない利用者への支援
- ・ 前年度に比べて延利用者数が23%増加。独居利用者の増加と手続き等の支援が必要な利用者が増加している。
- ・ 契約者：16名

2024年度 延利用者	2023年度延利 用者	2022年度延利 用者	2021年度延利 用者	2020年度延利 用者
171名	139名	96名	107名	102名

移動支援支援事業

- ・ 春、夏、冬の長期休み時の放課後デイサービス等への移動支援を中心に実施した。
- ・ 登録者4名

2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
391.5時間	371時間	460時間	372時間	48時間

自発的活動支援事業

- ・ わっこスポーツクラブ（精神）は当事者での安定的な運営体制が確立したため本年度を持って法人としてのサポートを終了する。
- ・ わっこさーくる（知的）は2か月に1回の活動を行い、次年度より若年層の対象者も含む形で拡充していく。
- ・ 普及啓発活動として意見交換会、講演会を開催。
- ・ 病児家族会（といろの会）、知的家族会（すまいるファミリー）、精神家族会（青空）を開始し、悩みを共有する場、話ができる場の設置を行った。次年度以降も交流と発信を目指していく。

【内容】※（ ）内は参加者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
松本市美術館 (6)	マレットゴルフ (4) 臥竜公園 (3)	モルック (9) 家族会 (6)	カラオケ (7) 志賀高原 (3)	バドミントン (5)	卓球 (5) 乗鞍高原 (2) 家族会 (7)

10月	11月	12月	1月	2月	3月
ボウリング (9) 家族会 (3)	紅葉狩り (6) 松本市外散策 (3)	バドミントン (7) 家族会 (6) 映画上映会 (19)	新年会 (6) 別所温泉 (3)	ボウリング (4) 家族会 (2)	懇親会 (9) カラオケ (4) 家族会 (8)

□ 理事会等

日付	項目	内容
5/16	内部監査①	2023年度事業報告・決算
5/21	第1回理事会	2023年度事業報告・決算
5/21	通常総会	2023年度事業報告・決算
5/21	役員改選	嶋田幸夫副代表退任、山崎智幸副代表就任
8/28	第2回理事会	就業規則の改訂（フレックス導入）
11/21	内部監査②	上半期監査
12/23	第3回理事会	上半期報告・事故対策・次年度計画
2/25	第4回理事会	2024年度事業計画・積立金等

□ 補助事業・助成金等

本年度は赤い羽根共同募金による土蔵の改修、および精油蒸留装置の増設を実施した。

月	補助事業等名	金額	詳細
1月	赤い羽根共同募金	¥100,000	地域活動支援センター備品類
1月	全社協補助金	¥130,000	能登半島災害支援
3月	赤い羽根共同募金	¥2,000,000	社会福祉施設整備配分事業
3月	子供の農山漁村体験交流計画策定事業（総務省）	¥1,000,000	視察研修、リーフレット作成等

□ 固定資産取得

業務効率化のための機器整備や更新を行うと共に、新事業に利用するための設備投資を行った。

日付	項目	金額	備考
5/15	スピードスプレッター	¥50,000	りんご消毒用
6/25	フォークリフト	¥350,000	とくら納品・製材用
7/2	駐車場用地	¥1,000,000	事務所隣接土地
8/8	2トトラッククレーン	¥4,250,000	4WD、下取り 165万円
9/14	軽トラック	¥775,000	スズキキャリア
2月	坂井雑種地	¥200,000	薪、きのこ生産用地
3月	土蔵改修費用	¥3,249,050	内補助金支給 200万円
	合計	¥9,874,050	手出し金額 6,224,050円

6. 出来事

日付	内 容	詳 細
4/18	筑北村商業部会総会	本年度より理事就任
5/30	ちくほくロゲイニング開催	中央区立晴海中学校2年生126名、田屋地区にて
6/14	ほっとステイちくほく開催	中央区立日本橋中学校2年生137名、15家庭協力
6/20	長野大学講義	持続可能な人生をデザインしよう
6/27	長野大学FW	りんご摘果、カシス収穫、蒸留水製造
7/10	全国農業新聞取材	おてこ衆
7/12	ごちゃまぜだから楽しい暮らし	地域自立支援協議会講演会
10/1	フレックスタイム制導入	適用者3名
10/7	ヘルプ稲刈り会	滝澤久雄さん圃場
10/8	千葉大学視察受入れ	農福連携卒業論文、2名
10/17	長野大学FW	りんご収穫、土蔵荒壁塗り体験
10/29	NPO グリーンウッド研修	泰阜村、山村留学、参加3名
10/31	相談支援専門員実地指導	安曇野市相談員、2名
11/11	聖南中学校総合学習	きささげ収穫
11/16	NEAL リーダー研修	十日町市、3名参加
11/19	相談支援専門員現任講習講師	ファシリテーター、計2日
11/19	森林メディカルトレーナー研修	～11/20、2日間、3名参加、講師：信濃町高力一浩氏
11/22	あんしんネットワーク事業監査	筑北村委託事業、金銭管理
11/25	防災訓練	土場火災想定、消防署招聘
12/3	長野大学講義	非営利事業論
12/7	自発的活動支援意見交換会	重度障がい者居住支援について ※1/31 ほっと情報麻績掲載
12/10	森林メディカルトレーナー研修	修那羅森林公園にて。合計3日間
12/12	越境ミーティング事例提供	長野県みらい基金、長野県社協、山梨県社協主催
2/12	社会福祉士実習生受入れ	長野大学1名
2/20	インターン受入れ	2名
3/26	地域自立支援協議会全体会	令和6年度報告、令和7年度事業計画

7. 数値

① 素材生産、請負業務等の状況

項 目	2024 年度	2023 年度	2022 年度	2021 年度	2020 年度
薪販売	66 件	63 件	57 件	40 件	36 件
ポイラ薪製造	75,986 kg	67,421 kg	95,031 kg	76,282 kg	43,984 kg
木の駅集荷	320 m ³	250 m ³	147 m ³	76.8 m ³	144 m ³
圃場整備	122 件	78 件	85 件	58 件	75 件
竹林整備	5 件	3 件	2 件	0 件	2 件
伐採	24 件	17 件	47 件	33 件	42 件
伐採補助	18 件	21 件			
用材販売・製材	14 件	12 件	10 件	8 件	6 件
庭木剪定	21 件	19 件	16 件	6 件	34 件

農林作業補助	32件	45件	66件	19件	16件
公園管理業務	10件	10件	9件	9件	9件
雑工事	7件	9件	12件	5件	3件
古代麦収穫	休止	0kg	0kg	600kg	252kg
ケール収穫	終了	2529 ケース	1554 ケース	2621 ケース	
精油・蒸留水	27件	75件	28件	1件	
農作物販売	303件	142件	109件	17件	
りんご販売	261件				
原木・きのこ	70件				
りんご収量	1,700 kg	1,900 kg	1,100 kg		
きささげ収量	103 kg	85 kg	188 kg		137 kg
視察・実習受入	8件	14件	7件	7件	7件
講演会・講義等	8件	10件	8件	10件	4件

② 雇用者・関係事業者数

・ 常勤5名、パート7名、A型2名、業務委託8名、業務連携5者

2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
27名	22名	17名	14名	13名	10名

③ 福祉就労者数

障害種別	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
知的障がい	4名	4名	6名	6名	5名	5名
精神障がい	11名	7名	11名	7名	5名	3名
引きこもり者	6名	7名	3名	4名	3名	1名
合計	21名	18名	20名	17名	13名	9名

・ 企業就職者：1名

④ 会員数

種別	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
正会員	26名	23名	22名	23名	17名	14名
準会員	5名	7名	4名	4名	6名	18名
賛助会員	40名	37名	39名	34名	65名	53名
賛助会員 (団体)	2者	2者				1者
合計	71名	67名	65名	61名	87名	86名

⑤ 広報（フェイスブック）

項目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
投稿数	50件	82件	100件	63件	81件	66件
フォロワー (インスタグラム)	505名	492名	477名	426名	333名	228名

項目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
投稿数	55件	84件	100件	74件	92件
フォロワー	440名	369名	274名	204名	120名

⑥ 福祉事業利用者数

事業	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
就労継続支援A/B型	9名	7名	8名	9名	7名
特定相談支援	57名	55名	48名	44名	55名
自立生活援助	16名	15名	9名	10名	10名
一般相談支援	2名	7名	5名	8名	6名
地域活動支援センター	19名	28名	28名	22名	18名
移動支援	4名	4名	6名	5名	4名
あんしんネットワーク	7名	8名	4名	5名	0名

基幹・総合相談
合計（重複含む）

27名
139名 124名 108名 120名 105名

⑦ 事故報告

・事故総数 2 件

日付	事故名	内容
10/1	土場の小火	消し炭器から飛び火し枝条に延焼。消防団、消防署が鎮火
2/20	ユニックあおり破損	木材ストックヤードにユニックを接触しあおりを破損

⑧ 苦情・要望等報告

日付	苦情名	内容
6/6	個人情報の保護	他利用者の近くで他の利用者の情報を伝達していた。

⑨ メディア等掲載

日付	内容	詳細
6/12	市民タイムス	ちくほくロゲイニング
6/20	市民タイムス 信濃毎日新聞	ほっとステイちくほく
6/28	信濃毎日新聞	長野大学 FW
7/25	館報おみ	地域自立支援協議会
8/2	全国農業新聞	おてこ衆記事
11/28	市民タイムス	映画上映会
12/10	市民タイムス	ふくまあるグループ展
12月	MG プレス	映画上映会
12/20	市民タイムス	暮らしにプラス「薪ボイラ」
1/25	SBC テレビ	エコロジー最前線
1/31	ほっと情報麻績	自発的活動支援事業講演会
3/5	市民タイムス 信濃毎日新聞	桜花木

8. 活動の様子







もし、私に何かあったら、この子はどうなるの？

【上映機会】2024年12月7日(土) 13時~15時

会場：座間村保健センター2階研修室
〒411-0117 静岡県座間市座間

普通

普通に生きる
~自立をめざして~

QRコード



【福祉事業に係る情報公開】

1. 相談支援事業

- 事業所名：キノネアク相談所

【支援体制】



修了研修等	氏名	修了年月日
医療的ケア児等支援者養成研修	小泊実知	H30.12.10
医療的ケア児等コーディネーター養成研修	小泊実知	H31.2.26
地域移行・地域定着研修	小泊実知	H30.7.31
行動援護従事者養成研修	小泊実知	H30.12.18
相談支援従事者研修 統括演習講師研修	和栗剛 藤澤房枝	R4 R7
相談支援従事者主任研修	小泊実知	R4.12.8
相談支援従事者現任研修	小泊実知 和栗剛 藤澤房枝	R4.3.16 R5.2.22 H30

2. 就労継続支援 A 型事業（次項より）

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	わっこ谷の山福農林舎	事業所番号	2012700130
住所	長野県東筑摩郡筑北村西条3846	管理者名	和栗剛
電話番号	0263-66-3035	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>①活動場所：筑北村村内</p> <p>②実施日：通年</p> <p>③実施した生産活動・施設外就労の概要</p> <p>村内の道の駅、直売所、公営トイレのトイレ清掃、および周辺の清掃</p>	<p><活動の様子></p>   
<p><目的></p> <p>①地域連携活動のねらい</p> <p>地域内の公共施設管理をA型事業所が担うことによるインクルーシブな社会の構築に寄与</p> <p>②地域にとってのメリット</p> <p>地域の人材不足を補うことができ障がい者の就労を促進することができる</p> <p>③対象者にとってのメリット</p> <p>少人数での作業になることから複数人での作業に困難を感じる対象者にとっては自分のペースで作業を行うことができる。</p>	
<p><成果></p> <p>①実施した結果、得られた効果</p> <p>安定的に公共施設の清掃が行われ清潔な環境が保持されている。</p> <p>②課題点</p> <p>特になし</p>	

連携先の企業等の意見または評価

公共施設のトイレは24時間利用可能であるため、清掃作業は早朝の短時間が求められており、人材の確保に苦慮していた。しかし、2019年より山福農林舎に村内4か所の公共施設のトイレ清掃と周辺整備を委託したことで課題であった人手不足が解消された。

また、清掃業務は、毎日決められた作業を繰り返し行う粘り強さが求められているが、休まず、まじめに勤務してもらえることから委託後は安定的な運用が可能となった。


村としては、委託することで就労支援だけでなく様々なメリットが生まれてくることから今後も連携を継続していくとともに、村の課題解決に向けて官民一体となって取り組んでいきたいと考えている。

連携先企業名	筑北村観光課課長補佐	担当者名	山越玲彦
--------	------------	------	------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	わっこ谷の山福農林舎	事業所番号	2012700130
住 所	長野県東筑摩郡筑北村西条3846	管理者名	和栗剛
電話番号	0263-66-3035	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>①活動場所 筑北村坂北上手方（管理地所）</p> <p>②実施日程 2024年4月23日（火）9:00～12:00</p> <p>③実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 傾いた木の伐倒方法・牽引伐倒</p> <p>④参加者数：利用者1名、スタッフ2名</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>①利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 安全な伐倒方法を学び事故を防止する</p> <p>②利用者にとってのメリット 安全に伐倒できる方法を学び予測できるようになる</p>	
<p><成果></p> <p>①実施した結果 作業中の危険箇所の把握ができるようになったとともに同様の作業場所での道具準備やKYT知識を身に付けることができた。</p> <p>②課題点：特になし</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

傾いた木の伐倒や足場が悪いところでの作業は危険が伴い、十分な安全確保と確認が必要です。
今回の研修を通じて、安全に効率的に作業を進める技術を習得することで今後の業務連携が進むことが期待されます。

連携先企業（担当者） 里守師 加藤梓介

利用者からの意見・評価

今回の研修に参加したことで安全な伐採方法を知ることができました。また危ない場所で事前に準備をしっかりとすることで事故を防ぐことができることを知りました。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	わっこ谷の山福農林舎
住 所	長野県東筑摩郡筑北村西条3846番地
電話番号	0263-66-3035

事業所番号	20127000130
管理者名	和栗剛
対象年度	令和6年度

(I) 労働時間		点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①:90点 ②:80点 ③:65点 ④:55点 ⑤:40点 ⑥:30点 ⑦:20点 ⑧:5点		65

(II) 生産活動		点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①:60点 ②:50点 ③:40点 ④:20点 ⑤:-10点 ⑥:-20点		40

(III) 多様な働き方（※）		点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度	就業規則等で定めている	
②利用者を職員として登用する制度	就業規則等で定めている	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	就業規則等で定めている	
④フレックスタイム制に係る労働条件	就業規則等で定めている	
⑤短時間勤務に係る労働条件	就業規則等で定めている	
⑥時差出勤制度に係る労働条件	就業規則等で定めている	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	就業規則等で定めている ○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	就業規則等で定めている	
小計（注1）		1
（※）8項目の合計点に応じた点数		（注1）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上（※）		点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	参加した職員が1人以上参加している ○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表	1回以上の場合 ○	
③視察・実習の実施又は受け入れ	いずれか一方のみの取組を行っている ○	
④販路拡大の高談会等への参加	1回以上の場合 ○	
⑤職員の人事評価制度	人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している 5	
⑥ピアサポーターの配置	ピアサポーターを職員として配置している	
⑦第三者評価	過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受賞しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	
小計（注2）		4
（※）8項目の合計点に応じた点数		（注2）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	130	点 / 200点
----	-----	----------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	2,546	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	489	人	利用者の1日の平均労働時間数	5.2	時間
-----------------------------	-------	----	-------------------	-----	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賞金総額	円	収支	0	円
-----------------	---	--------------	---	----	---	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	1,075,723	円	利用者に支払った賞金総額	1,061,205	円	収支	14,518	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	2,520,895	円	利用者に支払った賞金総額	2,490,743	円	収支	30,152	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に☑をつけること）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度	
◎利用者を職員として登用する制度を定めている	

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
◎在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件	
◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☑

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組ありと選択とした場合に☑をつけるとともに、具体的な内容について記載すること）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	
◎研修計画を策定している	
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☑
※研修名	QJTリーダー養成研修
研修講師	長野県社会福祉協議会
実施日・受講者数	6月11日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において発表	
◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☑
※研修、学会等名	越境ミーティング
実施日	12月12日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	過疎地域のまちづくりを考える

③視察・実習の実施又は受け入れ

③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎先進的事業者の視察・実習の実施している又は他の事業所の視察・実習を受け入れている	☑
※先進的事業者名	NPO法人グリーンウッド
実施日/参加者数	10月29日 3人
※他の事業所名	千葉大学
実施日/参加者数	10月8日 4人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会等への参加	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☑
※商談会等名	ノウハウマルシェ
主催者名	岐阜県
日時	2024年10月26日
内容	農福連携を行う事業者の販売会および商談

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度	
◎職員の人事評価制度を整備している	
◎当該人事評価制度を周知している	
人事評価制度の制定日	年 月 日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターの配置	
◎ピアサポーターを配置している	
◎当該ピアサポーターは障害者ピアサポート研修を受講している	
※配置期間	月 日～ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

⑦第三者評価	
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。